

企画名：市民が主体となり報道関係者とも連携した福島第一原発の記録・情報発信プロジェクト

団体名：秋田放射能測定室『べぐれでねが』

1. 報告要旨

本年度の助成では、これまで課題としていた福島第一原発構内の有人での撮影を成功させ、大型の撮影機材を使用できたことにより、その情報精度はこれまでより何倍にも向上させることができた。期間内に公表した youtube での動画再生数もトータルで 3000 再生を超え、当初目標としていた 500-1000 再生を十分に超えることができた。そして何よりも重要な事故や大きなトラブルがなく空からの撮影を終えることができた。

取得したデータの評価については、福島第一原発内での発煙をとらえジャーナリストのまさのあつこさんと連携、東電や規制庁に問い合わせをすることができた。構内での作業を市民が監視している場合があるという、不適切な作業に対する一定の抑止力として機能できていると考える。

本年度の助成を通じ特に印象に残ったことは、福島第一原発周辺の有人飛行が成功し自らの目で福島第一原発を上空から見たこと。これがなければ福島からの避難者の方に支えていただくこともなかったであろうし、おそらく abt のスタッフの皆様ともかかわることも、多くの支援者に支えていただくこともなかったであろうと思う。実際に上空で原発を目の前にし、それまで色々とお世話になった方々の顔が脳裏に浮かんできた。加えて、上空から見た海の景色があまりにもきれいで見入ってしまい、この海に汚染水を放出しているという事実に対してもつらい気持ちになった。

撮影後、原発構内のデータを見て特に驚いたのが構内では[中国から無償供与された巨大ポンプ車がメンテナンスされ今も使用できる状態で保管されていたこと](#)。事故当時中国からの善意により助け舟を得た福島第一原発は汚染水放出という最悪の形で結果として恩を仇で返す形となってしまった点が特に印象的であった。

2023 年度も 1 年を通じ沢山の方に支えていただき無事にプロジェクトを成功させることができました。大変ありがとうございました。

2. 成果物

1. 「[福島第一原子力発電所の報道機関向けの空撮映像を一般公開します\(2023.02 撮影\)](#)」(2023.4.13)
[YouTube](#) 668 再生
2. 「[汚染水放出工事の詳細等、福島第一原発のより詳細な映像について公開します\(2023.02 撮影\)](#)」(2023.5.7)
[YouTube](#) 545 再生
同動画に基づく記事 まさのあつこ「[東京電力福島第一原発 既設の何かの『溶断』で無許可の煙上がる](#)」
『地味な取材ノート』(2023.5.10)
同動画に基づく記事 まさのあつこ「[煙の正体：汚染水を薄めるポンプのためだった](#)」『地味な取材ノート』
(2023.5.10)
3. 「[福島第一原子力発電所の報道機関向けの空撮映像を一般公開します\(2023.06 中旬撮影\)](#)」 485 再生
(2023.6.22)
4. 「[上空 2000m から見た福島第一原発周辺の様子。はたして原発周辺には汚染水のタンク置き場は残されているのか？\(2023.09 撮影\)](#)」 261 再生 (2023.10.1)
5. 「[ついに放出された汚染水、その時の福島第一原発内の詳細を可視化する\(2023 年 9 月撮影\)](#)」(2024.4.22)
[YouTube](#) 1215 再生